

政治の世界
では

ない。

⑯ 「する」原理を適用すると、指導者は人民と社会に不断にサービスを**提供**すること、人民は指導者を**監視**し業績を**テスト**することが、政治の民主化の基準になる。

⑰ 徳川時代の**勸善懲悪**イデオロギーでは、**よい人**が**悪い人**かという単純な基準であった。

⑱ しかし、役割関係が進展すると、**よい行動**が**悪い行動**かという基準が必要になる。ところが、「である」原理の**建て前**だけの判断は、制度の現実的な働きを**テストしない**。つまり、「である」ことは「**状態**」を重視し、「する」ことは**運動**や**過程**を重視する。建て前だけの判断は、**理想的**な社会を**模範**的な状態として想定し、**神聖**化する。

⑲ 日本では、「**状態**」的**思考**が氾濫している。

⑳ 民主主義は**既存の「状態」**であり、その攪乱は「**反民主主義**」である。

・日本では制度は**建て前**があつて生活の中に**降りてくる**という実感を持つている。さらに**官僚的思考様式**が拍車をかける。

・制度の建て前の論理は、**還元論法**によつて、**測定**や**検証**をしない。

日本の急激な「近代化」

・近代日本の混乱は、一方で「する」価値が**浸透**しながら、他方で「である」価値が**根を張り**、「する」原理を建て前とする組織を**セメント**化したことにある。

・伝統的な「**身分**」が開壊しながら、自発的な**集団形成**と自主的な**コミュニケーション**の発達が妨げられ、**会議**や**討論**の社会的基礎が未熟であると、近代的組織や制度は閉鎖的な「**村**」を形成し、「**うち**」の意識と「**うちらしく**」の道徳が強くなる。しかし、「**そと**」ではあかの他人との接触が必要である。日本人は、**場所柄**に応じて振る舞い方を使い分けなければならなくなる。

「する」価値と「である」価値との倒錯

・この矛盾も、戦前は「**臣民の道**」への「**帰一**」して取り繕つてきた。しかし、戦後は「**大衆社会**」的諸相が蔓延すると、問題が噴出する。

・厄介なのは、「する」ことは、それによる**検証**が必要な所では**欠けて****いる**のに、その**侵入**が反省される所では**進展**している点である。

・それは大都市の**消費文化**において甚だしい。**住居の変化**や**ホテ****ル化**は意味があるが、**休日**や**閑暇**や**学芸**の在り方では過剰に進展している。